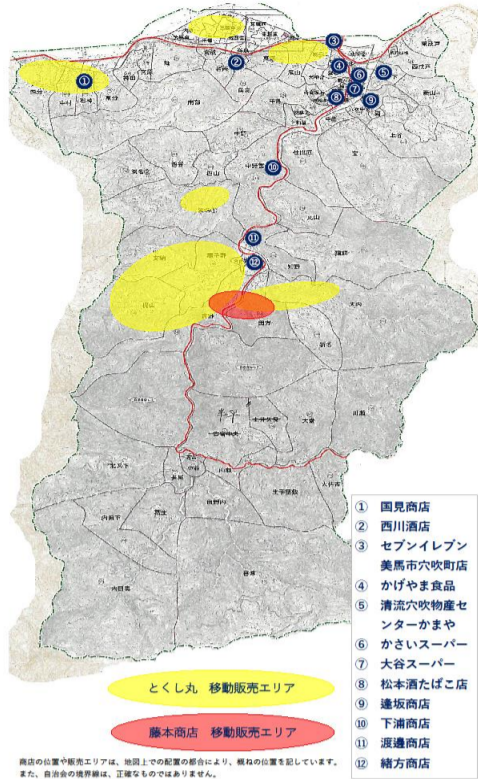


令和2年度 穴吹地区地域福祉活動計画実行委員会 活動記録

取り組み	活動の内容	評価・今後の取り組みに向けて
<p><b>(健康)</b> ○健診受診の推進</p>  <p>特定健診受診率、美馬市で一番めざまいで。</p> <p>穴吹地区地域福祉活動計画実行委員会</p>	<p>①受診状況の確認 ・美馬市保険健康課より、健診受診状況などについての事前説明を受けた。</p> <p>②チラシの作成 ・チラシの内容（構成、スローガンなど）を実行委員会で考え、仕上げは市地域包括支援センターの実行委員会穴吹地区担当職員に作成していただく。</p> <p>③啓発 ・できあがったチラシをもとに、実行委員が啓発に取り組んだ。（地域で行われている百歳体操、フレイル予防研修会、ウォーキング大会 など）</p> 	<p>☆健診チラシを配布し啓発に取り組んだ結果、「早々に健診に行きたい」などの声も聞かれ、健診の重要性を認識してもらえた。</p> <p>●今後も、健康増進に繋げる活動として啓発を続けていきたい。</p> 
<p><b>(健康)</b> ○ウォーキング大会の開催</p> 	<p>日時：令和2年11月1日（日）午前9時30分～ 場所：穴吹町口山旧宮内小学校スタート 参加者：157名 内容：田方～知野コース 約2.4km 調子野～首野コース 約5.5km 昨年と同様に、宮内交流の里ウォーキング大会と合同で開催した。</p> 	<p>☆仲間(参加者)との語らいでウォーキングの壮快さ、楽しさを再確認し、健康意欲を促進した。特に今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で外出や地域行事の機会が減ったことから、多くの子どもたちの参加もあった。昨年好評だった地元婦人会による「そば米ぞうすい」の振る舞いは、新型コロナウイルス感染症を考慮し、中止した。</p> <p>●今後も地域団体（口山地区）と合同で開催し、お互いの活動への理解とつながりを深めていきたい。 なお、三島地区や穴吹地区においても、開催できるよう検討していきたい。</p>
<p><b>(環境)</b> ○環境保全の推進 ○看板清掃</p> 	<p>日時：令和2年10月29日(木) 場所：国道492号線筋穴吹～川瀬・穴吹農免道路筋 内容：昨年までは、夏に穴吹川へ来られている方にポイ捨て禁止・ゴミの持ち帰りを呼び掛けながら環境保全啓発を実施していたが、今年は新型コロナウイルス感染症を考慮し、穴吹町内に設置している「ゴミ捨て禁止」などの看板清掃を行った。実行委員が2班に分かれて清掃活動に取り組んだ。</p>   	<p>☆長年の汚れを落とせたことで、字が見やすくなり、ゴミの不法投棄防止など環境への啓発に繋がると期待できる。</p> <p>●今後も、継続して環境美化を呼び掛けていきたい。</p>  
<p><b>(生活・健康)</b> ○フレイル予防研修会の開催</p> 	<p>日時：令和3年1月22日（金）午後2時～ 場所：穴吹農村環境改善センター 参加者：穴吹地区のサロン関係者31名 内容：コロナ禍でのフレイル予防をテーマに、自宅でもできる体操や取組について紹介させていただき研修会を開催した。</p> <p>①「フレイル予防について」 美馬市地域包括支援センター 保健師 前田実知代 氏</p> <p>②「健康診断受診啓発」 穴吹地区実行委員会 副委員長 三宅美智子 氏</p> <p>③「サロンや自宅でできる簡単な体操やゲーム」 理学療法士 大和浩之 氏</p>	<p>☆参加者から、新型コロナウイルス感染症の影響により高齢者の「地域のつながり」の機会として重要な役割である「いきいきサロン」の開催が難しい中、具体的な内容で身近な物(タオル)などを使いだれにでもできそうな体操など大変ためになったと好評を得た。</p> <p>●今後も、サロン活動に役立つ情報提供、地域活動に協力いただける人材育成に向けて、研修会を開催したい。</p>  
<p><b>(防災・環境・生活・健康)</b> ○実行委員会活動協力者の発掘</p>	<p>・前年度末に、町内の小地域支援ネットワーク代表者、福祉委員、サロン関係者に、実行委員会活動の協力員を募った結果、34名（三島地区12名・穴吹地区11名・口山地区8名・古宮地区3名）の方に協力いただけることとなった。8月に、意見交換会(穴吹実行委員会活動の報告や地域での困りごと聞き取り 他)を予定したが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期したため、今後時期をみて意見交換会を開催する予定。</p>	

(地域資源調査)

穴吹地区 買い物資源マップ



取り組み

○買い物資源マップの作成

活動の内容

・他地区で買い物資源の調査に取り組んでいるとの情報があり、「穴吹地区でも買い物に困っている方がいるのではないか」との意見から、町内の買い物資源調査に取り組むこととした。

評価・今後の取り組みに向けて

☆買い物資源を可視化することで、商店が無い地域を再認識することができた。マップを元に、商店のない地域（古宮地区）や移動販売の無くなった地域（口山淵名地区）の買い物状況について、地区の民生委員や福祉委員等への聞き取りも行った。

☆移動販売が中止された口山淵名地区には、別の地域で新たに移動販売の取り組みを始めた事業者へ情報提供を行った結果、販売エリアに加えてもらえることとなった。

☆商店に近い地域でも、買い物に困っている方はいると思われるため、穴吹地区民生委員児童委員協議会でも啓発し、情報提供を呼びかけた。

●今後も高齢化が進み、商店の減少や買い物が困難な住民の増加が考えられるため、引き続き、情報収集に取り組むたい。また、地域内の助け合いの推進や仕組みについても検討していきたい。